

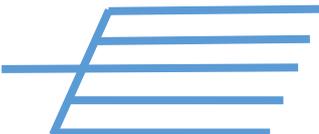
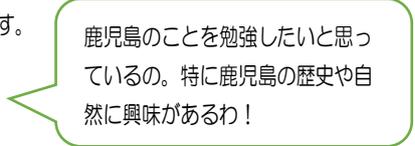
1年 総合的な学習の時間 「課題の設定」 学習指導案

学 級 1年6組 (男子21名 女子18名 計39名)
 場 所 1年6組教室 (1年校舎3階)
 指導者 教諭 山下 里紗

1 本時の目標

課題の設定において、疑問や既有知識から課題を明らかにしていく方法を身に付けることができる。

2 展 開

過程	時間 形態	主な学習活動	○ 指導上の留意点 ◎ 評価																																			
導 入	5分 一斉	1 「課題の設定」の目的を聞く。 2 学習目標を確認する。 課題を設定するための方法を知ろう。	○ 探究活動を行う上で、漠然としたテーマではなく、追究する価値のある課題を設定することの意義を説明する。																																			
展 開	10分 個	3 ウェビングマップを用いて、テーマから自分のもっている考えや知識を広げる。 ○ ウェビングマップを用いて考える。 ・ ウェビングマップの特徴を聞く。 ・ ウェビングマップを用いて、問いを広げていく。 【例】 	○ ウェビングマップ 【目的】幅広い多様な考えを生み出すために用いる。 【方法】中心のテーマから連想する考えを周囲に書き込んでいく。その考えから更に連想する考えを次の層に書いていく。																																			
	6分 個	4 ウェビングマップで出されたキーワードを基に、疑問を引き出す。 ○ くまでチャートに疑問を書いていく。 	○ 質問・疑問マトリクスを提示することで、キーワードから、疑問を生み出しやすくする。 <table border="1" data-bbox="750 1198 1492 1388"> <thead> <tr> <th>What 何が 事項</th> <th>When/Where いつ・どこで 状況</th> <th>Which どれが 選択</th> <th>Who 誰が 人</th> <th>Why なぜ 理由</th> <th>How どのように 手段</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在 何が～したか?</td> <td>いつ・どこで～したか?</td> <td>誰が～したか?</td> <td>誰が(に)～したか?</td> <td>なぜ～したか?</td> <td>どのように～したか?</td> </tr> <tr> <td>過去 何を～したいか?</td> <td>いつ・どこで～したいか?</td> <td>どれを～したいか?</td> <td>誰に～したいか?</td> <td>なぜ～したいか?</td> <td>どのように～したいか?</td> </tr> <tr> <td>可能性 何がありえるか?</td> <td>いつ・どこでありえるか?</td> <td>どれがありえるか?</td> <td>誰が～しえるか?</td> <td>なぜ～しえるか?</td> <td>どのように～しえるか?</td> </tr> <tr> <td>予想 何が～しそうか?</td> <td>いつ・どこで～しそうか?</td> <td>どれが～しそうか?</td> <td>誰なら～しそうか?</td> <td>なぜ～しそうか?</td> <td>どのように～しそうか?</td> </tr> <tr> <td>仮定 もし～起こったらどうなるか?</td> <td>もし(いつ・どこで)起こったらどうなるか?</td> <td>もし～を選んだらどうなるか?</td> <td>もし～ならどうなるか?</td> <td>もし～が理由ならどうなるか?</td> <td>もし～のようになったらどうなるか?</td> </tr> </tbody> </table>	What 何が 事項	When/Where いつ・どこで 状況	Which どれが 選択	Who 誰が 人	Why なぜ 理由	How どのように 手段	現在 何が～したか?	いつ・どこで～したか?	誰が～したか?	誰が(に)～したか?	なぜ～したか?	どのように～したか?	過去 何を～したいか?	いつ・どこで～したいか?	どれを～したいか?	誰に～したいか?	なぜ～したいか?	どのように～したいか?	可能性 何がありえるか?	いつ・どこでありえるか?	どれがありえるか?	誰が～しえるか?	なぜ～しえるか?	どのように～しえるか?	予想 何が～しそうか?	いつ・どこで～しそうか?	どれが～しそうか?	誰なら～しそうか?	なぜ～しそうか?	どのように～しそうか?	仮定 もし～起こったらどうなるか?	もし(いつ・どこで)起こったらどうなるか?	もし～を選んだらどうなるか?	もし～ならどうなるか?	もし～が理由ならどうなるか?
What 何が 事項	When/Where いつ・どこで 状況	Which どれが 選択	Who 誰が 人	Why なぜ 理由	How どのように 手段																																	
現在 何が～したか?	いつ・どこで～したか?	誰が～したか?	誰が(に)～したか?	なぜ～したか?	どのように～したか?																																	
過去 何を～したいか?	いつ・どこで～したいか?	どれを～したいか?	誰に～したいか?	なぜ～したいか?	どのように～したいか?																																	
可能性 何がありえるか?	いつ・どこでありえるか?	どれがありえるか?	誰が～しえるか?	なぜ～しえるか?	どのように～しえるか?																																	
予想 何が～しそうか?	いつ・どこで～しそうか?	どれが～しそうか?	誰なら～しそうか?	なぜ～しそうか?	どのように～しそうか?																																	
仮定 もし～起こったらどうなるか?	もし(いつ・どこで)起こったらどうなるか?	もし～を選んだらどうなるか?	もし～ならどうなるか?	もし～が理由ならどうなるか?	もし～のようになったらどうなるか?																																	
	20分 個 グループ	5 演習をする。 イタリアのナポリ市に住むソフィア。 ナポリ市と姉妹都市である鹿児島に興味をもっています。  ソフィアのために鹿児島を探究しよう!	質問・疑問マトリクス ○ くまでチャート 【目的】アイデアを広げたり、多面的に考えたりする時に使う。 【方法】くまでの柄の部分に何について考えるかを書く。手のところに考えを書き出していく。 ○ 学んだこと (ウェビングマップ、くまでチャート)を用いて課題を設定し、自分が設定した「課題」についてグループでの意見交換を促すことで課題の価値に気づきやすくする。 ◎ 既有知識や疑問から課題を設定することができたか。																																			
終 末	4分 個 5分	6 「課題の設定」のまとめをする。 7 授業の振り返りをする。	○ キーワードをもとに疑問を持ち、課題の設定をしていく方法があることを確認することで、今後の活動に結び付けやすくする。																																			

1年 総合的な学習の時間「情報の収集」学習指導案

学 級 1年5組 (男子20名 女子19名 計39名)
 場 所 1年5組教室 (1年校舎3階)
 指導者 教 諭 堤 清 竜

1 本時の目標

「情報の収集」における各手段（書籍，新聞，インターネット，インタビュー，アンケート，観察・実験）の特徴を理解することができる。

2 展 開

過 程	時間 形態	主な学習活動	○ 指導上の留意点 ◎ 評価
導 入	5分 一斉	1 情報を集める様々な手段について発表する。(書籍，新聞，インターネット，インタビュー，アンケート，観察・実験など) 2 学習目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">情報を収集する様々な手段の特徴を理解しよう。</div>	○ 知っている情報収集の手段について問い掛けることで，多様な手段を共有させる。 ○ 目的や条件に応じて情報収集の手段を選択することの意義を説明する。
展 開	30分 個	3 タブレットを使ってそれぞれの特徴について調べる。	○ インターネットの使い方（検索の仕方や情報モラル）について説明をする。 ○ 良い点，注意しないといけない点，調べ方など項目を挙げたワークシートを準備することで，特徴を比較しやすくする。 ○ 調べた内容を伝え合い，お互いに確認するよう促すことで，情報の精査について考えられるようにする。
	10分 グループ	4 調べた内容をグループで意見交換する。	◎ 情報収集における各手段の特徴を理解できたか。
終 末	5分 一斉	5 授業の振り返りをする。	○ いくつかの場面設定を行い，それに適した適切な方法を問い掛けることで，探究活動を行う際に自らが考えて選択できるようにする。

例：インターネット

利点	留意点	調べ方
<ul style="list-style-type: none"> 素早く目的の情報をピンポイントで得られる。 莫大な情報量がある 最新の情報が得られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ほしい情報にしか触れず，特定の情報が偏る場合がある。 情報の信憑性・正確性が高いものばかりではない。匿名性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の出典を確認する。 効率の良い検索方法を知る。(or 検索，not 検索，とは検索など)

1年 総合的な学習の時間「整理・分析」学習指導案

学 級 1年2組 (男子20名 女子18名 計38名)
 場 所 1年4組教室 (1年校舎2階)
 指導者 教 諭 大 野 華 代

1 本時の目標

思考ツールを用いて情報を「整理・分析」する方法を身に付けることができる。

2 展 開

過 程	時間 形態	主な学習活動	○ 指導上の留意点 ◎ 評価
導 入	5分 一斉	1 学習目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 情報を「整理・分析」する方法を身に付けよう。 </div>	○ 情報を「整理・分析」する場面や意義について簡潔に説明する。
展 開	15分 一斉	2 例を基に、思考ツールの役割について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> (仮) りんごとみかんの共通点は？ </div>	○ いくつかの生徒の考えを黒板にベン図で整理し、全体で使い方を共有できるようにする。 ○ 情報を整理したベン図を示すことで、思考ツールの定義を捉えることができるようにする。
	25分 グループ	3 様々な思考ツールについて知る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ウェビング法, KJ法, 座標軸, ベン図, ランキング, メリット・デメリット, ビフォー・アフター, フィッシュボーン </div>	○ ワークシートで思考ツールの種類と活用方法についてまとめたものを紹介する。
		4 フィッシュボーンを使って、課題についての考えを情報として「整理・分析」してまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> (仮) 学級目標を達成するためには。 </div>	○ 目的に沿って思考ツールを活用できているかを確認し、必要に応じて支援する。 ◎ 思考ツールを用いて、情報を「整理・分析」することが理解できたか。
		5 グループの意見を発表する。	○ 意見だけでなく、どのようにして情報を整理・分析したのかを発表するよう促すことで、理解が深まるようにする。
終 末	5分 一斉	6 授業の振り返りをする。	○ 目的や場に応じて思考ツールを選択することが、情報の整理・分析には大切であることを確認させる。

1年 総合的な学習の時間「まとめ・表現」学習指導案

学 級 1年3組 (男子20名 女子19名 計39名)

場 所 1年3組教室 (1年校舎2階)

指導者 教 諭 橋 口 真 一

1 本時の目標

調べたことをまとめたり表現したりする様々な方法とその特徴を理解することができる。

2 展 開

過程	時間 形態	主な学習活動	○ 指導上の留意点 ◎ 評価
導 入	2分 一斉	1 「まとめ・表現」するための具体的な方法について発表する。	○ これまでの調べ学習を振り返りつつ、「まとめ・表現」の方法をいくつか挙げさせることで、目的に即した方法を選択することへの意識を高める。 《学習の流れ》 ① 「まとめ・表現」する様々な方法について理解する。 ② 3つの「まとめ・表現」する方法の特徴を考える。 ③ 今後の活動でどんな「まとめ・表現」を行うか考える。
	3分 一斉	2 学習目標と学習の流れを確認する。 「まとめ・表現」する方法の特徴を理解しよう。	
展 開	8分 一斉	3 三つの方法（プレゼンテーション、壁新聞、リーフレット）について、その特徴を聞く。	○ 「まとめ・表現」する方法のイメージをもたせるために、おおまかな特徴は全体で確認する。 ○ 「まとめ・表現」の方法を掲載した別資料も準備し、選択の幅を広げることができるようにする。
	17分 グループ	4 プレゼンテーション、壁新聞、リーフレットの特徴をベン図を使って整理する。	○ 昨年度の1年生が作ったプレゼンテーション、新聞、リーフレットを準備し、比較することを促すことで特徴を考えやすくする。
	13分 一斉	5 特徴について意見交換をする。	○ 各グループで出た意見を共有することで、特徴をより明確に捉えることができるようにする。 ◎ 「まとめ・表現」する方法にはそれぞれどんな特徴があるか、整理することができたか。
終 末	7分 一斉	6 授業の振り返りを行う。	○ いくつかの場面設定を行い、それに適した方法を問うことで、判断のポイントを捉えやすくする。

① プレゼンテーション

☆ 資料や機器を使い研究や調査結果を発表したり、企画を提案したりすること。

② 新聞

☆ 社会の出来事の報道や論評を、広い読者を対象に伝達するための定期刊行物。日刊が多いが、週刊・旬刊・月刊などもある。

③ リーフレット

☆ 催し物の案内や商品説明などに使われる、一枚ものの資料のこと。